

連坊・薬師堂陸奥国分寺ウォーキングコース歴史解説

連坊小路→昔、陸奥国分寺が隆盛であった頃、木の下には二十四坊の塔頭があり、この二十四坊に通じる道路だったので連坊小路と称されたといわれている。
宿坊→仏教、寺院や神社などの僧侶や氏子、講や参拝者のために作られた宿泊施設→僧侶専用→僧房
別当坊→宍松→現代への生き残り→天正13年(1585)医王如来の宮殿(人々を病から救う)
別当→お寺の造営・維持管理の長官を務める和尚さんを別当といい、その住まいを別当坊という。
 舟丁あたりにある遊女町に通う道「恋慕小路」→仙台最古(1695年頃)の地詩「仙台鹿子」
長町利府活断層→西(山)側が隆起する逆断層で南北に約40km
 4~5万年に少なくとも3回うごいている→3000年間隔で最新は1万6千年前

地下鉄東西線連坊駅

辻標→昭和52年(1977)→市内に88ヶ所、市制施工88周年で→(~平成6年(1994)17年間で)[東街道 ←□→ 木ノ下]
東山道・東街道→官道→都(やまと)から多賀城(724)までその後胆沢城まで
 (東街道→江戸時代の呼称と言われている)←長町郡山の国府が移転
 古代→五畿七道 七道→「東海道、東山道、北陸道、山陰道、山陽道、南海道、西海道」
東山道は近江国から陸奥国(…長町郡山→多賀城→胆沢城)
 中世→奥大道→鎌倉から陸奥国の江戸→五街道「東海道、日光街道、奥州街道、中山道、甲州街道」
奥州街道は宇都宮から白河まで白河以北は奥大道、仙台道中などと呼ばれていた
 その後、参勤交代のため千住宿から陸奥三厩まで115宿(外ヶ浜・陸奥湾)を奥州街道となる。
 ・現JR貨物線→昭和35年長町起点3.8km バス停名→西新丁 三角公園碑が

東街道

薬師堂・准胝観音(25番札所)→子宝や安産を願う祈祷の本尊 → 嫁、舅で同じ念持仏を
 4代綱村(念持仏→市博物館)・仙姫に世継ぎ無し→宮床伊達家から5代吉村・冬姫久我(念持仏)氏長松院→6代宗村世継ぎ誕生を記念して長松院准胝観音堂建立(御開帳3日)
芭蕉仙台へ(1689)→碑「あやめ草 足に結ばん 草鞋の緒」→1782年駿河の俳人官鼠氏らが建立
藍染→「藍」は蓼(たで)科の植物で「インデコ」という成分があり、その成分を使って染める。
 抗菌性、消臭性に優れ虫害、蛇除けに効果があります。
大淀三千風供養碑→伊勢の俳人→1669年仙台へ→松島を詩歌で歌う選集「松島眺望集」を発行
 →芭蕉の案内人・北野嘉右衛門(三千風の一の弟子) 餞別代わりに草鞋をプレゼント

准胝観音・薬師堂

保春院の創建→義姫の位牌寺→義姫の13回忌(1635年)に→遺骸は北山覚範寺で火葬・埋葬(76歳)
 →新坂「永昌寺」(四番札所)に灰塚が

保春院

若林区役所

高砂堀通り

臥龍梅(高砂堀途中で)←この項話なし
 1593年臥龍梅→朝鮮から仙台城(この時仙台城はまだ)?→若林城(仙台屋敷)
 1600年仙台城の縄張り(政宗34歳)
 1628年若林城(政宗61歳 仙台屋敷)
 1636年政宗70歳江戸で没
 1639年解体し二の丸へ→松音寺に山門が

七郷堀→仙台堀→高砂堀→広瀬川愛宕堰から区役所まで1.6km
若林区区役所・養種園の変遷
 明治33年(1900)伊達家15代邦宗伯爵(ケンブリチ大留学)→「養種園」
 大正9年(1920)仙台白菜が
 昭和18年、昭和19年 仙台市が伊達家より借受→「仙台養種園」→仙台市直営となる
 昭和28年(1953)旧伊達伯爵邸が聖ウルスラ学院に譲渡
 昭和31年 仙台市が伊達家より土地、建物一切を買収
 昭和41年「仙台市養種園」
 昭和63(1988)年若林区区役所完成(養種園移転跡地)
 平成元年(1989)政令指定都市に移行→農業芸園センターとして七郷に開園

陸奥国分寺跡

白山神社→七重の塔→仁王門→冠の
国の冠が三つそろっているのは日本でもここだけです。

白山神社

- ①国史跡→陸奥国分寺跡
- ②国名勝→おくのほそ道風景地 [つじが岡及び天神御社と市内で2カ所]
- ③国重要文化財→陸奥国分寺・薬師堂
 宮城県指定文化財→陸奥国分寺薬師堂仁王門、白山神社本殿

尼寺

尼寺(24番札所)→本尊聖観音菩薩
 →和賀忠親(義忠の子)→関ヶ原の際に旧領地回復を図り、政宗の一揆支援を得て東軍の南部氏と戦うが失敗に終わる(花巻城南部氏は政宗の伯父にあたる)。政宗、支援の疑義が発覚→忠親、家康に召喚され途中尼寺で自害した→殉職した七人の家臣の供養塔。(和賀郡の領主和賀義忠は秀吉の小田原参戦(1595年)せず領地没収→南部氏に)

法領塚古墳

法領塚古墳→古墳の上にある石碑「法領権現」より→円墳で(直径55m)仙台で一番大きい→石室
 →遠見塚古墳(長さ110m)→雷神山古墳(長さ164m)

しだれ桜
 綱村が生母(政岡)のため榴ヶ岡に釈迦堂を建て桜(京都から)を植栽した際に、作業を手伝った登米伊達家の武士が一本持ち帰り屋敷のあったこの地に植えたもの。
彫刻のあるまちづくりスタート(宮城沖地震も)
 昭和52年(1978)に市制施工88周年を記念して開始→平成13年まで24作品(後半の12作品はふるさと創生事業で)それ以外で公園等に89設置→113カ所
 仙台方式(オーダーメイド)→設置場所とその場所に合う作風と作家を選定
 →その作家が現地視察して制作してもらう。区役所南側公園に手塚登久夫氏の作品「梟の森<月に吠える>」がたたずんでいる(二期作品)。神戸と宇都市は→コンクールを開催してその入賞作品を

連坊・薬師堂陸奥国分寺ウォーキングコース歴史解説
